

四日市版コミュニティスクール報告書（平成29年度総括）

四日市市立三重北小学校
校長 岡本 雅代

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- (1) 開かれた学校づくりをめざし、地域・保護者とともに協働できる学校にするために協議会を設置し、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら地域コミュニティづくりを推進します。
- (2) 教育活動を学校評価に基点を置いたものとします。そのために、これまでの学校関係者評価をより充実させ、改善に努め、保護者や地域の方々の思いや願いを反映した学校づくりを推進します。
- (3) 学習支援をはじめとして、様々な教育活動に保護者や地域の方々との活動を継続・発展させ、「地域とともにつくる学校」の推進を図ります。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

① 学習ボランティアさんによる学習支援

地域や保護者の方々に呼びかけ、学習ボランティアとして学習支援のご協力をいただきました。本年度は、英語活動、3年生の毛筆、1・2年生の音楽、読み聞かせ、手芸クラブに計5名の学習ボランティアに入ってくださいました。英語の学習ボランティアさんには、授業だけでなく、保護者へのお便りを翻訳していただくことにもご協力いただきました。また、毛筆や音楽の学習ボランティアさんには、習字のお手本やピアノ伴奏などの技術的な支援だけでなく、児童一人ひとりに関わるきめ細やかな指導にもご協力いただきました。

【書写の学習支援】



図書の読み聞かせでは、学年に応じて児童らが興味を持ちそうな図書を準備していただき、年間通してたくさんの絵本を読み聞かせしていただきました。また、年間6回の手芸クラブにも学習ボランティアさんに入ってください、子どもたちがおこなう手芸の補助をしていただきました。

【音楽の学習支援】

【英語活動の学習支援】

【読み聞かせの学習支援】

【クラブの指導支援】



② 体験学習

本校は、周りを山や田に囲まれています。また、地元には、竹林や梅林を所有している方もみえ、それらの地域素材を活用した体験学習ができます。毎年、各学年で地域の方々との関わりを大切に体験学習をおこなっています。6月、4年生は地域にお住まいの樋口求さん宅の梅畑をお借りし、たわわに実った梅を収穫する体験活動をおこなわせていただきました。高い枝についている梅を長い棒で一生懸命落とし、落ちた梅をたくさん拾いました。収穫した梅はジュース

にしておいしくいただきました。その他にも、1・2年生で花づくり体験、3年生でタケノコ掘り体験、5年生で米作り体験、6年生でバンブーハウス体験（4年生の時製作したバンブーハウスを卒業の前に解体しました。）をおこないました。



③ゲストティーチャーによる地域学習活動

6年生社会科の学習「太平洋戦争」「第二次世界大戦」と関連させて、三重地区であった戦争を知るために、山之一色で空襲を体験された服部桂さん、服部洋さんにお話を聞かせていただきました。当時の光景が目にかぶようなお話しに、子どもたちは引き込まれて真剣に聞いていました。そのあと、お墓や防空壕に行き樋口和美さんに、戦争中のお話をさせていただきました。戦争を実際に体験した方々から話を聴くこの貴重な体験のおかげで、「未来の日本のあるべき姿」や「戦争が二度と繰り返されないために私たちがすべきこと」など、6年生なりに考えることができました。



3年生の社会科の学習「昔の暮らし」の単元で、地域にお住いの服部照代さん、樋口和美さんに来ていただき、50年～60年前の三重北地区の様子についてお話をさせていただきました。服部さんが通っていた学校や子どもたちの様子を写した写真を見せていただいたり、樋口さんが子どもの頃読んでいたマンガ雑誌を見せていただいたりしながら、詳しく「昔の暮らし」を教えてくださいました。子どもたちは、一生懸命メモをとりながら話を聞き、当時の様子を想像することができました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

運営協議会委員の方にゲストティーチャーとして、学校教育活動へ積極的に参画していただきました。特に、コミュニティスクール委員長の樋口和美さんには、コーディネーターとして地域のゲストティーチャーとのパイプ役や授業支援についてご協力いただきました。地域の方々との

関わりを大切にしたい体験活動や地域素材を活用した学習は、地域のことを知り、地域に住む方々の思いややさしさに触れ、自分たちの地域を大切にしようとする心を育むことにつながりました。また、今年度、5名の地域ボランティアさんに学習支援をしていただきました。

学習ボランティアさんの援助をいただいた結果、児童一人ひとりの技能を確実に伸ばすことができたとともに、地域と学校の連携・協力も深まりました。教師も学習ボランティアさんの協力が得られたことで、余裕をもって児童の指導に当たることができました。

コミュニティスクール運営協議会は、自治会長さん・民生委員さん・学習ボランティアさん、PTA役員さん等10名の委員さんで構成されています。地域の様子や学校に関わってもらっている方の感想・保護者の思いなど、様々な立場からの考えを聞かせていただきました。運営協議会の場では、学校教育活動に対してさまざまなご助言やご提案もいただきました。

本年度は運営協議会委員さんからのご提案をもとに、あいさつに関する取り組みをおこないました。子どもたちのあいさつが十分にできていないのではないかと学校アンケートの結果を受け、保護者・地域を巻き込んだ取り組みを進めました。あいさつが活発になる標語を子どもと保護者が一緒になって作成し、それを地域行事等で地域の方や保護者の目にふれるよう掲示する取り組みです。まだまだ大きな成果へつなげることはできていませんが、学校での取り組みや思いが地域の方々や保護者にも伝わり、あいさつに対する意識を高めることができました。

【児童との給食試食会】



【授業参観】



【会議の様子】



3 今後に向けて

地域の方々や運営協議会委員さんが参画して、学校の授業やさまざまな活動に支援をいただいたことは、子どもたちの学力向上だけでなく、思いやりや優しさを育てることもつながりました。今後も、地域学習や体験学習を更に充実していけるよう、実践を振り返り、活用方法や年間計画を引き継ぎながら、地域・保護者との連携の取り組みを進めていきたいと考えています。

また、運営協議会の場で学校教育活動に対してさまざまなご意見をいただくとともに、授業参観や学校公開等の機会を捉えて、学校の現状を把握していただき、年度末には学校関係者評価をいただきました。いただいたご意見やご示唆は、来年度の教育活動に反映させていただきます。地域・保護者との連携を図るためには、どんな取り組みであれ、学校が一生懸命にやっている姿をしめすことが大切であると考えています。本年度出されたご助言・ご提案をもとに、今後も、学校づくりビジョンに沿って、開かれた学校づくりを目指し、取り組みを進めていく予定です。

平成29年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立三重北小学校

委員長 樋口 和美

校長 岡本 雅代

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	9日(火) 10:30~12:20 第1回運営協議会	(1) コミュニティスクールについて (2) 学校づくりビジョンの説明と承認 (3) 活動方針及び年間活動計画について (4) 学校運営に対する意見交流 ※会議後、教室で給食試食会実施
6	17日(土) 9:30~11:30 第2回運営協議会	(1) 土曜日授業の授業参観 (2) 取組報告(昨年度の地域学習について) (3) 音楽鑑賞会参観 (10:00~11:00 白子ウインドシンフォニカ) (4) 協議・情報交換
7		
8		
9		
10	28日(土) 9:00~11:40 第3回運営協議会	(1) 土曜日授業 文化フェスティバル参観 (2) 取組報告(全国学力・学習状況調査結果概要) (3) 協議・情報交換
11		
12		
1	20日(土) 9:30~11:50 第4回運営協議会	(1) 授業参観(9:40~10:25) (2) 協議会(10:45~12:00) ・参観された授業について (3) 取組報告(体力向上の取り組み) (4) 学校関係者評価について
2	17日(土) 10:00~11:30 第5回運営協議会	(1) 学校関係者評価について協議 (2) 平成30年度学校づくりビジョンについて
3		